

情報通信審議会 電気通信事業政策部会（第80回）議事録

1 日時 令和7年4月2日（水）14：00～14：12

2 場所 Web会議による開催

3 出席者

（1）委員（敬称略）

岡田 羊祐（部会長）、大橋 弘（部会長代理）、浅川 秀之、
荒牧 知子、石井 夏生利、江崎 浩、高橋 利枝、藤井 威生
（以上8名）

（2）専門委員（敬称略）

大谷 和子（以上1名）

（3）総務省

<総合通信基盤局>

湯本 博信（総合通信基盤局長）

・電気通信事業部

大村 真一（電気通信事業部長）、堀内 隆広（基盤整備促進課長）、
大堀 芳文（基盤整備促進課企画官）

（3）事務局

片山 寅真（情報流通行政局情報通信政策課総合通信管理室長）

4 議 題

（1）答申案件

「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方」について

【令和6年12月2日付け諮問第1240号】

開 会

○岡田部会長　ただいまから情報通信審議会第80回電気通信事業政策部会を開催いたします。本日もお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本日はウェブ会議にて会議を開催しております。現在、委員8名中全員、8名が御出席でありますので、定足数を満たしております。

それでは、お手元の議事次第に従いまして議事を進めてまいります。

本日の議題は、答申案件1件でございます。

(1) 答申案件

「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方」について

【令和6年12月2日付け諮問第1240号】

○岡田部会長　初めに、令和6年12月2日付け諮問第1240号「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方」について審議いたします。

それでは、大谷主査から御説明をお願いいたします。

○大谷主査　ユニバーサルサービス政策委員会から御報告をさせていただきます。

前回、第79回電気通信事業政策部会におきまして御審議いただき、また、意見募集の進められた諮問第1240号「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方」答申（案）につきまして、意見募集の結果寄せられた御意見と、それらに対する考え方の案につきまして、ユニバーサルサービス政策委員会で検討を行いましたので、その結果につきまして御報告申し上げます。

資料80-1-1を御覧ください。

2月14日から3月17日までの32日間の意見募集の結果、御覧のとおり、法人3者から御意見が提出されました。次のページ以降に、それぞれの個別の御意見とそれらに対する考え方の案を取りまとめております。

いただきました御意見のうち、冒頭の2つでございますが、答申（案）に対する賛成

の御意見となっております。残る2つの御意見につきまして、まず意見の3でございますが、ここまで事業者ヒアリングも通じて既にユニバーサルサービス政策委員会で検討してきた内容に関する御意見となっておりますので、改めて答申（案）の考え方を御説明することで、ここでの回答に代えさせていただいております。内容は御覧のとおりでございます。

また、意見4は次の3ページ目を御覧ください。意見4ですが、こちらは接続料の算定そのものについての具体的な御意見をいただいております、今回の意見募集の対象ではございませんので、その点を御説明しているものでございます。

以上の御意見を踏まえまして、ユニバーサル政策委員会といたしましては、答申（案）の内容に特に変更を加えるべき点はなく、原案のままで適当であるとの結論に至っております。

以上をもちまして、委員会の御報告とさせていただきます。御審議のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

○岡田部会長 大谷主査、御報告ありがとうございます。

ただいまの御説明について、御意見、御質問等がございましたらチャット機能にてお申し出ください。

大橋先生よろしく申し上げます。

○大橋部会長代理 ありがとうございます。

まず、今大谷主査から御説明があった点については、全く異論ございません。

議題の扱い方として1点申し上げることができればと思って挙手させていただきました。今回、議題1つで、パブコメの結果についての回ということで、今回、こうした形で日程を設けられたという認識ですけれども、基本的に前回の御報告と、特段変更ないパブコメの内容だということでもありますし、今後、議題の取扱い方として、こうしたものも含めて、パブコメを踏まえた軽微な変更については、特段会合を開かないで、例えばメール審議にするとか、そうした形もあり得べしかなと。先生含めて、皆さんお時間取っている中でもありますので、事務局に対してだと思えますけれども、そうしたところはもう少し柔軟に議題の設定は考えられたらいいのかなと思って挙手させていただきました。

○岡田部会長　大橋先生、ありがとうございます。貴重な御意見だと思えますが、議事運営に関わることで、この点に関しましては事務局から御回答をお願いできればと思えますが、いかがでしょうか。

○片山総合通信管理室長　事務局の片山です。

情報通信審議会につきましては、透明性確保の観点から原則公開として運営しているところがございますので、ほかの審議会の状況なども踏まえて、一旦お預かりさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○岡田部会長　ありがとうございます。

議事運営に関わる規則等の在り方も含めて、いろいろ見直しも必要になってくるお話しかと思えます。この点、大橋先生、事務局で預かっていただき、御検討いただくということでもよろしいでしょうか。

○大橋部会長代理　御丁寧にありがとうございます。結構だと思えますが、恐らく、透明性は今私が申し上げた形でも確保される形になるかと思えますので、その点だけ付言させていただきます。

○岡田部会長　ありがとうございます。それでは、この点も含めまして事務局のほうで御検討いただければと思えます。

そのほか、御意見、御質問などございますでしょうか。

ほかに御意見などないようですし、定足数も満たしておりますので、ただいまの御説明を了承し、資料80-1-1の意見募集結果に対する当部会の考え方を公表するとともに、資料80-1-2の答申（案）について、資料80-1-4の答申書（案）のとおり答申することとしたいと思えますが、いかがでしょうか。

（異議の申出なし）

○岡田部会長　ありがとうございます。

特に御異議もないようですので、意見募集結果について了承するとともに、資料80-1-4の答申書（案）のとおり答申することといたします。

それでは、ただいまの答申に対しまして、総務省から今後の行政上の対応について御説明を伺えるということですので、よろしくお願いたします。

○湯本総合通信基盤局長 総務省総合通信基盤局長の湯本でございます。

まず、岡田部会長、大谷主査はじめ、各委員の皆様方におかれましては、本日令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方について、答申をお取りまとめいただいたこと、御礼申し上げます。

今回の答申におきましては、NTT東日本とNTT西日本において、計画どおり本年1月までにIP網への移行を完了したことも踏まえ、令和6年度第4四半期に関する電話のユニバーサルサービス交付金について、その額の算定に当たってどのようにLRICモデルを適用するかなどの考え方をお示しいただきました。総務省といたしましては、本日いただいた答申に基づいて速やかに所要の制度整備を行ってまいります。

また、委員会の運営に関しまして御議論がございました。この点についても、先ほど事務局から回答しましたとおり、事務局のほうで預からせていただいて検討してまいりたいと考えております。

改めまして、委員の皆様への御協力に感謝申し上げますとともに、今後とも、情報通信行政の推進に当たりまして、様々な面でお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

私からは以上でございます。引き続きよろしく願いいたします。

○岡田部会長 どうもありがとうございました。

閉 会

○岡田部会長 それでは、以上で本日の議題は終了いたしました。何か委員の皆様から御意見などございますでしょうか。

事務局から何かございますでしょうか。

○片山総合通信管理室長 事務局からは特にございません。

○岡田部会長 承知しました。

以上をもちまして本日の会議を終了いたします。なお、次回の日程につきましては、開催日が決まり次第、事務局より御連絡申し上げます。

それでは、以上で閉会といたします。御出席いただきまして誠にありがとうございました。